

日	曜日	行事予定	給食
1	土		
2	日		
3	月		
4	火		
5	水		
6	木		
7	金		
8	土		
9	日		
10	月	着任式・始業式 ①式 ②学活 ③学活	×
11	火	①集会②入学式準備③入学式準備 11:20放課 入学式 (14:00~)	×
12	水	実力テスト英数社理国 (5校時まで) 専門委員会	○
13	木	①学年集会, ②学活, ③学級写真, ④金6, ⑤木5, ⑥学活 代議員会	○
14	金		○
15	土		
16	日		
17	月	③④身体測定	○
18	火	全国学力・学習状況調査①~⑥	○
19	水	⑥部活動紹介	○
20	木	三者面談 木1~4 13:20放課	○
21	金	三者面談 金1~4 13:20放課	○
22	土		
23	日		
24	月	三者面談 月1~4 13:20放課	○
25	火	三者面談 火1~4 13:20放課	○
26	水	三者面談 水1~4 13:20放課	○
27	木	三者面談 水56, 月56, 金5	○
28	金	⑤参観授業	○
29	土	昭和の日	
30	日		

ご進級おめでとうございます

いよいよ最高学年&受検生となりました。今日出会った仲間と先生との縁を大切にしてください。みなさんならきっと素敵に1年にできると思います。今年の学年訓も、次の3つです！

- ①挑戦する ②対話する ③雰囲気をつくる
何事にもポジティブになる雰囲気を目指しましょう！

努力の壺

私が3年生を担任したとき、最初の学活で必ずする話があります。それは『努力の壺』の話です。生徒に話をするときに参考にしている『努力の壺』の話が染谷幸二先生の著書にあります。以下に抜粋(少々加筆しています)したものを掲載します。

「努力の壺とは、人間がそのまま入ってしまうようなおおきな土製の壺です。その壺には「理科のテストで90点取りたい」「〇〇高校に合格したい」という札が付けられています。その札こそが、みなさん1人1人が抱えている《目標》なのです。その壺に、1日勉強するたびにコップ1杯の水が入れます。つまりコップの水が《努力》なのです。最初のうちは水を入れても、水が増えた気配すら感じられません。中にどれくらい水がたまったかを見たくても、土でできた壺なので何い知ることできません。

人間には、弱い心が溢ります。

途中、「自分には才能がないのでは?」「どんなに努力しても全然変わらないのだから、自分には向いていないんだ」「無駄な努力はやめてしまおう。その方が楽になる!」と自分自身の努力に疑問をもつようになります。そして、コップに水を入れることをやめてしまうのです。

強い心をもった人もいます。

つまり、弱い心を克服できる人です。「自分は向いていないのではないか?」という悪魔のささやきにも負けず、初心を貫ける人です。

毎日コップで水を入れていると、ある時、水の音が変わってきたことに気がつきます。水を入れたら、「ポチャン!」と音がするのです。その音から、確かに水がたまっていることを知ります。

こうなると、コップで水を入れるのが楽しくて仕方なくなります。今まで1杯入れるのがやっとだったのに、「たまってきている」と実感できたことで2杯分3杯分の努力を惜しみなくできるようになります。他の人が見たら「すごい努力だ!」と思うことも、その人にとっては呼吸すること、食事をとることと同じように《当たり前なこと》に感じられるようになります。

こうなれば、努力を「努力」と思うのではなく、生活の一部として取り組むことができるようになります。これが《自信》につながるのです。

そしていつかは壺から水が溢れ出す時がきます。この時初めて、努力の大切さを知ることができるのです。

今日から受検生としての1年がはじまりました。ぜひ努力の壺をイメージしてください。そして目標を設定してください。そして努力を1日1日積み重ねてください。この1年の頑張りの過程が、今後の人生の宝になります。

学年団を紹介します!

学年主任 久米 輝 先生

1組担任 小林 優依 先生 2組担任 福岡 史記 先生

3組担任 森本 美加 先生 4組担任 西尾 侑大 先生

5組担任 鎌田 如恵 先生 6組担任 吉本 岳史 先生

10組担任 天部 剛 先生 11組担任 吉本 美嶺 先生

副担任 岡 久美子 先生 副担任 繁崎 達哉 先生

次回の学年通信では、学年団の先生方からのメッセージを掲載します!



※4月中は45分日課になります。18日(火)は50分日課です。

5月の予定

12日(金) 内科健診

17日(水) 南中祭体育の部 18日(木) 南中祭体育の部予備日

19日(金) 耳鼻科健診 23日(火) 中間テスト